



2023年12月21日

東京地下鉄株式会社

日揮ホールディングス株式会社

株式会社レボインターナショナル

合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

## 鉄道事業者初 東京メトロが国産 SAF 製造のための 廃食用油提供に協力する基本合意書を締結 ～脱炭素・循環型社会の実現に向け、「Fry to Fly Project」にも参加～

東京地下鉄株式会社（代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役 CEO：佐藤雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役：越川哲也、以下「レボインターナショナル」）、並びに合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表：秋鹿正敬、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）の4社は、使用済み食用油（以下「廃食用油」）を国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel（以下、SAF））等へ再利用する取り組みに関して、積極的に取り組み、相互に協力することを目的とした基本合意書を12月20日付で締結しました。本取り組みに鉄道事業者が参加するのは初となります。

併せて、東京メトロは国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に参加します。



### <本取り組みの概要>

SAFとは、化石燃料以外を原料とする持続可能な航空燃料で、原料が100%廃食用油の場合、原料収集からSAFの製造・燃焼までのサプライチェーン全体で、従来の航空燃料と比較してCO<sub>2</sub>排出量を約80%削減することが可能です。

日揮 HD、レボインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で国内での廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約3万キロリットルの SAF の供給を目指しています。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択（※1）を受けた助成事業です。※1 NEDO ホームページ：[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3\\_100312.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html)

東京メトロは、サステナビリティ重要課題の1つとして「地球にやさしいメトロに」というマテリアリティテーマを定めており、「脱炭素・循環型社会の実現」に向け、長期環境目標「メトロ CO<sub>2</sub>ゼロ チャレンジ 2050」(※2)定めて省エネや再エネの活用を推進するほか、資源の効率的な利用(車両自動洗浄機での再利用水の活用等)、リサイクルやリユースの推進(車両車体のリサイクル・リユース等)などに取り組んできました。

※2 メトロ CO<sub>2</sub>ゼロ チャレンジ 2050:東京メトログループ全事業を対象に排出する CO<sub>2</sub>量「2030年度-50%(2013年度比)、2050年度実質ゼロ」とすることを目指しています。

そうした中で今回、東京メトロはこの SAF で脱炭素社会の実現を目指す取組みに賛同し、基本合意に基づき、グループ会社である株式会社メトロプロパティーズが運営する飲食店舗等(※3)から排出される廃食用油を提供し、レボインターナショナルが収集します。その廃食用油を使い、SAFFAIRE SKY ENERGY が国産初 SAF 大規模生産プラントにおいて SAF の製造を行います。日揮 HD は、廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーン全体をコーディネートします。

※3 廃食用油を排出するメトロプロパティーズ直営店舗 11 店舗のうち、7 店舗で回収をスタート。7 店舗から出る廃食用油は、メトロプロパティーズ直営店舗における総排出量の約 90%。



メトロプロパティーズが運営するめとろ庵



めとろ庵の人気メニュー かき揚げそば

「Fry to Fly Project」(※4)では、設立主旨に賛同する参加企業・自治体・団体が相互に連携しつつ、家庭や店舗等から排出される廃食用油の収集を促進するとともに、自治体との連携により廃食用油の SAF への活用に関する教育活動を実施するなど、日本国内において脱炭素化に向けた資源循環の促進に積極的に参加できる機会の創出を目指しています。

東京メトロは、鉄道事業者としての豊富な顧客接点を活かし、東京メトロをご利用いただくお客様(1日平均利用者数 595 万人(2022 年度実績))に SAF の重要性や「Fry to Fly Project」を発信します。(※5)

※4 日揮 HD が事務局を務めており、現在 76 の企業・自治体・団体が参加しています。(2023 年 12 月 19 日時点)本プロジェクトの活動やお知らせについては特設ホームページ(URL:<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>)でご確認ください。

※5 車内ビジョン及び駅コンコースビジョンにて 2023 年 12 月 25 日以降放映予定。

東京メトロと日揮 HD、レボインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY の 4 社は、今回の基本合意を通じて廃食用油を原料とする国産 SAF のサプライチェーンの構築を加速し、「脱炭素・循環型社会の実現」に貢献してまいります。



車内ビジョンでの発信イメージ



駅コンコースビジョンでの発信イメージ

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**



12 - 5 : 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

13 - 3 : 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

以上

この件についてのお問い合わせ先

東京地下鉄株式会社 お客様センター

[https://ssl.tokyometro.jp/support/inquiry01\\_jp](https://ssl.tokyometro.jp/support/inquiry01_jp)

日揮ホールディングス株式会社  
 戦略企画オフィス 経営企画ユニット  
 コーポレートコミュニケーショングループ

電話 : 045-682-8026

株式会社レポインターナショナル  
 経営戦略室

電話 : 075-353-2277